

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)  
分担研究報告書

小児慢性特定疾病児童等の自立支援に資する研究 (21FC1017)

移行期医療など関連施策との連携における課題抽出、要因分析一

石田也寸志 愛媛県立中央病院・小児医療センター・センター長

研究要旨

「小児がんの長期フォローアップと移行期医療」の講義を、愛媛大学医学部医学科 4 年生 103 人と東京大学看護科修士課程学生に行い、講義終了後に「あなたは小児がん経験者の成人医療移行を推進するために最も重要なものは次のうちどれだと思いますか？」という質問をして回答理由を尋ねた。その結果、医学部学生・看護修士課程学生ともに、小児医療の限界や小児がん経験者の自覚を促すという意見より、小児がん経験者への教育プログラムの整備や小児がん経験者の親や成人診療科医へ情報提供を行い、理解を得ることが重視されている結果であった。現在小児血液・がん学会で取り組んでいる、成人医療移行を推進するための小児がん経験者への教育プログラムの整備と成人診療科医への情報提供の方向性が学生にも支持された。

研究協力者

檜垣高史(愛媛大学・大学院医学系研究科・寄附講座教授)

池田真理(東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻家族看護学分野教授)

A. 研究目的

成人移行医療について大学生の感想や意見を聴取し、対策の方向性を模索する

B. 研究方法

「小児がんの長期フォローアップと移行期医療」の講義を、愛媛大学医学部医学科 4 年生 103 人 (2021 年 6 月 15 日)、東京大学看護科修士課程学生(2021 年 7 月 9 日)に行い、講義終了後以下のアンケートを行った。

今回の講義を聴いて、あなたは小児がん経験者の成人医療移行を推進するために最も重要なものは次のうちどれだと思いますか?5つの中から1つ選んで、100字以内で簡単にそれを選んだ理由を記載してください。

1. 小児医療担当者が、成人になったら小児科では診察できないことを小児がん経験者と保護者にはっきり告げる。
2. 成人期を迎える前に、小児がん経験者に自分の病気や治療のこと、将来の健康管理について自分で取り組むように促す。

3. 小児がん経験者が病気や治療のことを理解し、健康管理に自分で取り組むことができるように、医療者側が段階的に教育プログラムを提供する。
4. 小児がん経験者の保護者に、経験者が成人期を迎えるにあたり自立の重要性と自分自身による健康管理が必要なことを理解してもらう。
5. 成人医療担当医に、小児がんの疾患情報、治療法やそれに伴う晩期合併症の情報を提供する。

C. 研究結果

1) 愛媛大学医学部 4 年生(n=102 人)

選択番号	人数	割合
1	7	6.9%
2	22	21.6%
3	41	40.2%
4	16	15.7%
5	16	15.7%

1のように小児医療担当者の限界を告げるだけでは不十分と考える学生が多く、2のように自覚を促すだけではなく、3のように教育的視点で対応することが重要と考えている学生が多く、4・5のように保護者や成人への情報提供が重要と考える学生もある程度いることがわかった。

## 2) 東大看護学部修士(n=6人)

選択番号	人数	割合
1	0	0%
2	1	16.7%
3	2	33.3%
4	1	16.7%
5	2	33.3%

収集できた人数は少ないが、回答の傾向は医学部生と同じであった。成人担当医の準備状況を整えるのが重要という意見が目についた。

## D. 考察

全体として、1・2のように小児医療の限界や小児がん経験者の自覚を促すという意見より、小児がん経験者への教育プログラムの整備や親や成人診療科医への情報提供・理解を得ることが重視されている。小児血液・がん学会長期フォローアップ・移行期医療委員会で目標に掲げた「成人診療を行うカウンターパートとなる学会と、移行支援に関わる問題点の認識を共有し、協力して移行期医療を推進する。学会は複数が想定され、疾患や晩期合併症の内容に即した相応しい学会と協力関係を築く。」の妥当性が支持される。

## E. 結論

小児がん経験者の成人医療移行を推進するためには、小児がん経験者への教育プログラムの整備と成人診療科医への情報提供が必要と考える学生が多かった。

## F. 健康危惧情報

特になし

## G. 研究発表

### 1. 原著論文

1. Kuno M, Yamasaki S, Fujii N, **Ishida, Y**, et al: Characterization of myeloid neoplasms following allogeneic hematopoietic cell transplantation. Am J Hematol (in Press) doi.10.1002/ajh.26401,2022
2. Haruta M, Arai Y, Okita H, Tanaka, Y, Takimoto, T, Kamijo, T, Oue, T, Souzaki, R, Taguchi, T., Kuwahara, Y, Chin, M, Nakadate, H, Hiyama, E, **Ishida, Y**, Koshinaga, T, Kaneko, Y: Frequent breakpoints of focal deletion and uniparental disomy in 22q11.1

or 11.2 segmental duplication region reveal distinct tumorigenesis in rhabdoid tumor of the kidney. Genes Chromosomes Cancer 60:546-558,2021

3. Bakker ME, Pluimakers VG, van Atteveld JE, van den Heuvel-Eibrink, MM, Sato, S, Yamashita, K, Kiyotani, C, **Ishida, Y**, Maeda, M.: Perspectives on follow-up care and research for childhood cancer survivors: results from an international SIOP meet-the-expert questionnaire in Kyoto, 2018. Jpn J Clin Oncol 51:1554-1560,2021
4. Hayakawa A, Sato I, Kamibeppu K, **Ishida, Y**, Inoue, M, et al: Impact of chronic GVHD on QOL assessed by visual analogue scale in pediatric HSCT survivors and differences between raters: a cross-sectional observational study in Japan. Int J Hematol, 2021(in Press) doi. 10.1007/s12185-021-03227-2,2021
5. Soejima T, Shiohara M, **Ishida Y**, et al: Impact of cGVHD on socioeconomic outcomes in survivors with pediatric hematopoietic stem cell transplant in Japan: a cross-sectional observational study. Int J Hematol 113:566-575, 2021

### 2. 総説

1. **石田也寸志**:【成人移行支援の二面性】成長に合わせた自立・自律支援 専門領域の自立支援 小児がん経験者の成人フォローアップケア移行. 小児内科 53:1231-1235, 2021
2. **石田也寸志**:新型コロナウイルス感染症(Covid-19)の小児の臨床的特徴. 愛媛県小児科医会雑誌 2:2-14, 2021
3. 前田美穂、**石田也寸志**:小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会(LCAS) 日本小児血液・がん学会雑誌(印刷中), 2022
4. 今井 剛、**石田也寸志**:小児 AYA がんの長期フォローアップ. 医学のあゆみ(2022年1月1日号)

### 3. 著書

1. 石田也寸志:長期フォローアップ体性の現状と展望—移行医療、滝田順子編集『小児白血球リンパ腫』中山書店、東京 pp315-321,2021
2. 石田也寸志、早川晶、伊井憲子、尾花和子:12. 腎・泌尿器、前田尚子責任編集『小児がん治療後の長期フォローアップガイド』クリニコ出版. 東京 pp81-

85、2021

3. 藤浩、石田也寸志、盛田大介：15. 二次がん、前田尚子責任編集『小児がん治療後の長期フォローアップガイド』 クリニコ出版. 東京 pp99-115。2021
4. 石田也寸志、中山秀樹、山口悦子：2. 急性骨髄性白血病（AML） 、前田尚子責任編集『小児がん治療後の長期フォローアップガイド』 クリニコ出版. 東京 pp132-136、2021
5. 石田也寸志、大植孝治、大村素子、川村眞知子、澤田明久、野寄美和子、力石健：11. 腎腫瘍（Wilms 腫瘍ほか）、前田尚子責任編集『小児がん治療後の長期フォローアップガイド』 クリニコ出版. 東京 pp193-201, 2021
6. 石田也寸志、相部則博、上原秀一郎、川口浩史、川村眞知子、清谷知賀子：13. 横紋筋肉腫（RMS）、前田尚子責任編集『小児がん治療後の長期フォローアップガイド』 クリニコ出版. 東京 pp209-220, 2021

#### 4. 学会発表

1. Yasushi Ishida (2021) A long-term follow-up system for childhood cancer survivors in Japan. 2021 Annual Meeting of the Korean Pediatric Hematology Oncology, Seoul, Korea, Apr 16 (Web)
2. 石田也寸志 (2021) これからの成人移行支援 小児がん経験者の成人医療ケアへの移行. (日本小児科学会雑誌 125:160, 2021). 第124回日本小児科学会学術集会 シンポジウム、4月、京都

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし